



メールマガジン

2007年5月号 (Vol.2 No.5)

2007/5/26

目次

○ トピックス

恒例の希平会 開催

大陸での学生募集が台湾の大学に開放へ

北京外国語大学第10回日本文化祭り 開幕

○ 2008年オリンピック特集

○ 中日友好のシンボル — 鑑真和上

○ 九大人

北京大学長江学者 査洪彬

○ 中日最前線

○ Q-ナビ

メールマガジンへの寄稿

去年4月に九州大学北京事務所の設置に伴い、事務所の情報発信手段として、本メールマガジンが創刊されました。さまざまな不安材料を抱えての船出でしたが、今では約数千人の方々に毎月配信するまでになりました。これらも、ひとえに皆様のご支援のおかげでございます。

この一年を繰り替えて見れば、本メールマガジンは皆さんの期待に答える情報交換の機能を果たしてきたわけではありません。情報収集、編集の力が不足で、作業が追いつかないため、提供した情報の量が少ないのみでなく、未完成的なままで掲載してしまった記事も数多くあり、反省することしきりです。

年が改まるというのは、単に時間が経過したにすぎません。しかし、時間が経過したということは、いつまでも進歩なしままで許されるわけではないと受け止めています。今年は、「九大人」、「中日最前線」、「ミニリサーチ」、「Q-ナビ」などのコーナーを設け、皆様からの情報をお募りしながら、本メールマガジンの内容を充実することを図っています。この目標を実現するため、事務所一丸となって努力してまいりますので、読者の皆様も是非とも応援のほどよろしくお願いいたします。

ご寄稿くださる場合は、電子メールまたはファックスにて、九州大学北京事務所宛にお送りください。電子ファイルを添付していただくと、編集が効率的にできます。お読みになってのご意見やご感想をもお待ちしております。

編集代表者：九州大学北京事務所長 九州大学中国同窓会事務局長 宋 敏
発行：九州大学北京事務所 九州大学中国同窓会事務局
住所：〒100086 北京市海淀区中関村南大街甲6号铸诚大厦B座2008室
電話：+86-10-5158-1387 ファックス：+86-10-5158-1367
メール：peiking_office@yahoo.co.jp (日本語)
kyudai_ob@kyushu-ucn.net, kyudai_ob@126.com (中文)

■ トピックス ■

1 恒例の希平会 開催

5月9日(水)、恒例の「希平会」(日中高等教育交流北京連絡会)が、早稲田大学北京事務所(北京中関村資源大廈)にて開かれた。今回の会議では、JSPS北京研究連絡センター長の福西センター長がJSPSの事業計画について、説明し、北京駐在機関の関係者と幅広く意見交換を行いました。また、ANAの担当者が留学前下見ツアーの提案について説明しました。九大北京事務所の宋敏所長が出席。

2 大陸での学生募集が台湾の大学に開放へ

4月28日から29日にかけて、第3回海峡兩岸経貿文化論壇が北京にて開催。直航、教育、旅行観光を三つのテーマとしている。

特に、教育については、29日の閉会式にて、教育部の袁貴仁副部長が次のように宣布しました。つまり:兩岸における教育協力と交流を一層促進するために、教育部が台湾の大学が大陸での学生募集を歓迎、同時に大陸側の学生の台湾への入学に必要な協力を提供する。

また、教育部の責任者の話によると、台湾の各大学の大陸での学生募集に対しては、特定の制限がなく、公立か私立の大学を問わず、大陸での学生募集が可能である。また、「台湾教育主管部門の認可を得、大陸での学生募集を行う希望があれば、また台湾の大学へ入学したい学生がいれば、我々も積極的に支持します。今回の開放レベルは、香港の大学への開放レベルより、はるかに高い」と言う。

3 北京外国語大学 第10回日本文化祭り開幕

5月21日、北京外国語大学・北京大学・早稲田大学文化交流ウィークと北京外国語大学第10回の日本文化祭りの開幕式及び中日音楽交流会が、北京外国語大学の千人ホールで行われた。北京外国語大学郝平学長、北京大学許智宏学長、早稲田大学土田健次郎副学長、日本大使館道上尚史公使、中日二十一世紀交流委員会石川好委員、NEC中国金子肇総裁等が開幕式に出席した。



■2008年オリンピック特集■



この特集は、2008年五輪に注目し、今から開催までの最新情報、マスコット、関連施設紹介または主開催地である北京での観光や娯楽を皆さんに紹介致します。寄稿や意見などはe-mailでお送りください。

最新情報

北京五輪チケット販売 最初の月に109万枚を記録

http://www.pekinshuho.com/zt/txt/2007-05/17/content_64122.htm

瀋陽五輪センター、スタジアムが完成

<http://japanese.cri.cn/151/2007/05/10/1@93172.htm>

北京市民のスポーツ意欲が向上

<http://japanese.cri.cn/151/2007/05/22/1@93922.htm>

小学生2008人が巨大絵画に挑戦 太原

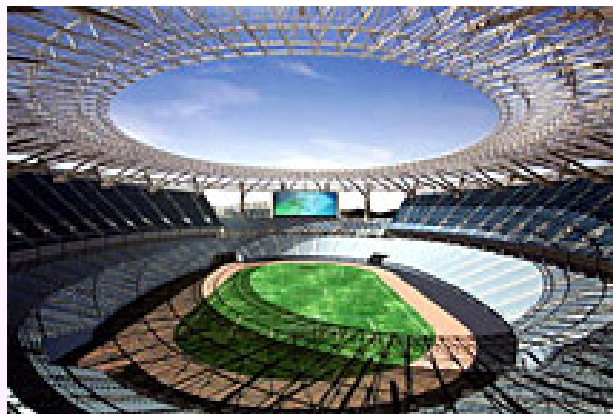
http://japanese.china.org.cn/sports/archive/aoyun/txt/2007-05/29/content_8316509.htm



関連施設紹介

北京国家体育場

北京に建設中の北京オリンピックのメインスタジアム。設計者はスイスの建築家ユニットヘルツォーク&ド・ムーロンで、その独特の形状から愛称は「鳥の巣(Bird's Nest)」である。総工費は35億元。最大収容予定人数は91,000人。北京市内北部のオリンピック公園内に建設中である。隣接して国家水泳センターや国家体育館なども建設中で2007年中の完成予定。北京オリンピックでは、開閉会式、陸上、サッカー決勝に使用予定。



鳥巣図



マスコット紹介

2005年11月11日夜、2008年北京五輪のマスコットが正式に発表された。五つのマスコットは、魚、パンダ、五輪聖火、チベットカモシカ、ツバメをイメージとして、魚の「ベイベイ(貝貝)」、パンダの「ジンジン(晶晶)」、聖火の「ホアンホアン(歡歡)」、チベットカモシカの「インイン(迎迎)」、ツバメの「ニイニイ(妮妮)」と愛称され、それぞれ五輪の一輪に当たるものでもある。

北京・東眺西望

故宮は紫禁城ともいい、北京市の中心部に位置し、北京のメイン・ストリート長安街に臨み、南は天安門に通じ、北は景山公園に臨み、



故宮

東は著名な商店街王府井に近く、西は中南海と接している。故宮は明と清の二王朝の宮殿であり、明の永楽18年(1420年)に完成した。かつて24人の皇帝がここに住んだことがあり、現在は故宮博物館としてオープンされている。

■ 中日友好のシンボル——鑑真和上 ■



鑑真の坐像

4月12日、温家宝総理は日本の国会にて「友情と協力のために」という名をつける演説を行われた。演説の中で、温総理は中日の歴史を振り返って、唐朝の鑑真が六回も日本へ渡航した事跡について、「鑑真和上は日本へ渡航するため、5回も失敗した末、両眼が失明しました。それでも、和上は志を変えることはありませんでした。6回目に渡航を成し遂げたときはすでに66歳の高齢になりました。鑑真和上は衆生済度の仏法を日本に伝え、長年の宿願を果たすために、通算12年間もの歳月を費やしました。

鑑真和上は中日両国人民の友情を増進するために自分のすべてをささげられました。」と回顧した。温総理が訪日するとともに、4月4日から中央テレビ放送局で16話のテレビ番組「鑑真東渡」も放送され、大変人気を呼びました。

鑑真は唐で一流の高僧とともに、仏舎利、律・天台の經典、王羲子の書、建築・彫刻・薬学など幅広い知識をもたらし、日本文化に大きな影響を与えた高僧である。688年鑑真は揚州江陽県に生まれ、14才で出家、高僧を歴訪して研鑽を重ねた。742年、揚州の大明寺に住み、「律を講ずること70遍、人を度すること4万余」という彼の名を伺った日本の入唐僧、榮叡・普照の2人に、日本へ来て正しい仏法を伝えようと願いを掛けられ、その熱意に応じて渡日を決意したと伝えられている。しかし彼の徳望を惜しむ皇帝からの反対や暴風・盗賊などの難儀にあって5度ものわたりが失敗して、ついに潮風に侵されて失明した。第6回目は密かに遣唐使の船に便乗し、753年12月、発意してより11年目にして67才で九州に到着した。日本に着いた後、戒律の他、彫刻や薬草の造詣も深い鑑真は、日本にこれらの知識を伝えた。また、悲田院を作り貧民救済にも積極的に取り組んだ。763年、鑑真和上は唐招提寺で入寂した。

1963年に、鑑真没後1200年を記念して、日中協力より、揚州の大明寺境内で鑑真記念館が建設され、1973年に完成。1980年に日本から移された鑑真和上の像が置かれる。鑑真記念館には九州大学OBの郭沫若氏が題した「唐鑑真大和尚記念碑」という碑文を刻み込まれた石碑を建ている。



郭沫若の題字



石灯籠



揚州の大明寺

また、揚州大明寺の鑑真記念堂に1つの石灯籠があります。これは、1980年に日本の唐招提寺の森本孝順長老が自ら送り届け、自ら燃したものです。この石灯籠は日本の唐招提寺にあるもう1つの石灯籠と1組となっています。この1組の灯籠は今なお消えることなく燃え続け、はるか遠くから互いに照り映え、中日両国人民の子々孫々にわたる友好の明るい将来を象徴しています。」と温総理が述べた。

■ 九大人 ■

時計の針が止まらず
歳月がここに留まる
九州大学北京事務所
九大人がここにいる

本コーナーでは、ミニ事典、現場直撃レポート、インタビュー、奮闘記などの側面から、九大OB及び九大の先生や教職員を描きます。人選は事務所で選ぶと同時に、ご紹介になりたい方も募集。投稿はE-mailでお送りください。可能な限り掲載しますが、本誌の目的や性格に照らして不相当と思われる内容は掲載しません。

査紅彬

☆☆☆☆☆

北京大学 教授

博士指導教授

长江学者

九州大学中国同窓会理事



足跡

- 1983年 合肥工業大学本科課程卒業
- 1987年 九州大学修士課程修了
- 1990年 九州大学博士修了、学位取得
- 1990年 九州工業大学に助手として採用
- 1991年 九州大学工学院助教授昇任
- 1999年 アメリカ University of Surrey 客員教授
- 1999年 IEEE SMC Society Franklin V. Taylor Awardに入賞
- 1999年 「長江学者」に入選
- 2000年 帰国、北京大学の教授に赴任
- 今 視覚と聴覚情報処理国家重点実験室主任、北京大学の教授

ミニ事典

北京大学は1898年に創設された中国で初めての国立総合大学です。人文学部、社会科学学部、理学部、情報と工学部、医学部の5つの学部が設立されており、31の学院と14の学科、101の学士学科、224の修士学科、202の博士学科があります。

2004年11月現在、北京大学には学部生14,486人、修士9,004人、博士4,759人、また、80ヶ国からの外国人長期留学生2,015人(学位取得コースの留学生1,333人を含む)短期留学生2,600人余りが在籍しています。北京大学は経験豊富な教員と最先端の研究環境を有し、全校の専任教員は5,226人おり、教授1,379人、助教授1,780人、中国科学院院士49人、工程院院士8人からなっています。現在では50近くの国家や地域の200余りの大学と交流関係を結んでいます。



<http://www.pku.edu.cn/>

■ 中日最前線 ■



ようこそ！中日最前線は、今月の焦点、流行傾向、最新動き、注意喚起などのテーマで、さまざまな記事やニュースを収集し、みなさんにお届けします。さあ～お読みになってのご意見、ご感想やアドバイスをお待ちしています。

最新動き

留学者数は16万人以上に

中国教育省が28日明らかにしたところによりますと、去年1年間に世界の184の国と地区のから来た留学生の数は16万人を超え、その前の年より15%以上増加しました。

統計によれば、1950年から2006年末までに、留学生の数は累計で104万人を超えました。国別に見ると、上位5位の国は、それぞれ、韓国、日本、アメリカ、ベトナム、インドネシアとなっています。

<http://japanese.cri.cn/151/2007/05/29/1@94431.htm>

06年中日貿易総額、初めて2000億ドルの大台突破

税関総局発表のデータによると、2006年の中日両国の貿易総額は2073億6000万ドルに達し、初めて2000億ドルの大台を突破した。中日両国の経済貿易依存関係がますます強まっていることを示している。両国間の貿易総額は1972年は10億4000万ドルだったが、2002年に初めて1000億ドルを突破。1000億ドルから2000億ドルに増加するまでは、わずか4年しかかからなかった。

http://www.pekinshuho.com/zrqx/txt/200705/08/content_63289.htm

今月の焦点

宮本雄二・在中国大使
——中日関係について演説



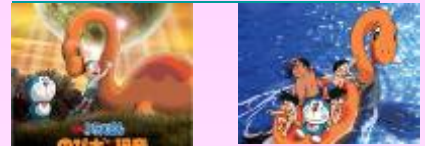
宮本雄二・在中国大使は16日午後、北京外国語大学の日本学研究センターで、中日両国関係の重要性について演説を行った。宮本大使は演説の中で、地縁関係、安全保障、政治、経済などの多方面から、中日両国の友好関係は必須であり、必然であると述べ、中日両国関係は、東アジアにおける両国関係であるだけでなく、アジアを超えて世界の平和・安定・発展に影響するとした。宮本大使はまた、中日両国の国交正常化後、30年以上にわたる両国関係を回顧し、「時代は変わりつつある。両国関係もそれにつれて変化するべきであり、相手の国の変化を受け入れられるよう心の準備をするべき」とし、「両国関係を上手く処理するためには、相互理解が必要で、交流を増やすほかない。両国政府と国民は、両国関係の発展を維持する責任がある」と述べた。

http://j.peopledaily.com.cn/2007/05/17/jp20070517_71224.html

★ トレンドキャッチ ★

映画「ドラえもん」が7月に
中国初上映

http://www.pekinshuho.com/wh/txt/2007-04/25/content_62459.htm



映画『夜宴』、6月に日本公開

<http://japanese.cri.cn/134/2007/05/08/1@93044.htm>



常盤貴子——中国を舞台に
したドラマ「玉蘭」で主演

<http://japanese.cri.cn/205/2007/04/28/1@92459.htm>

注意喚起

帰国者向け、初の中国留学
人材市場が設立

http://j.peopledaily.com.cn/2007/05/12/jp20070512_71004.html

中国職業教育の発展モデル、「就職誘導型」に変更

<http://japanese.cri.cn/151/2007/05/17/1@93612.htm>

在日中国人研究者一樂斌氏
経済界から大きな反響

<http://japanese.cri.cn/151/2007/05/17/1@93623.htm>

(写真は、日本経済
研究会から研究大
賞を授与される樂氏)



■Q-ナビ■



Q-ナビコーナーは、情報カレンダー、今月の見どころ、九州知恵袋、旬の味等のテーマで、九州大学、九州などを中心として、日本と中国に関する情報を発信します。皆さんにも役に立つ情報を募集致します。寄稿は、e-mailにてお送りください。

情報カレンダー

- 5月7日 2007年度日本学生支援機構（JASSO）私費外国人留学生学習奨励費について
<http://www.isc.kyushu-u.ac.jp/intlweb/student/page1-34/page012-1.htm>
- 5月10日 世界の孔子学院代表者が立命館大で第1回フォーラム
http://j.peopledaily.com.cn/2007/05/11/jp20070511_70937.html
- 5月15日 平成20年度外国人招く研究者事業の募集要項
<http://www.jsps.go.jp/j-inv/main.htm>
- 5月27日 海外留学人員帰国就職募集会在京主催
<http://www.moe.edu.cn/edoas/website18/info28455.htm>
- 6月15日 2007年度一部の奨学金項目募集延期の締め切り
<http://www.csc.edu.cn/gb/readarticle/readarticle.asp?articleid=2541>
<http://www.csc.edu.cn/gb/downloaddoc/2007/07年补选附件.doc>
- 6月25日 非常勤職員（留学情報センター海外留学相談員）募集の締め切り
<http://www.jasso.go.jp/recruit/hijoukin2.html>

今月の見どころ

-  日本映画紹介の集まり5月6月上映作品
http://www.cn.emb-japan.go.jp/cul_edu/movie.htm
-  7月25日-28日第一回日中障害者芸術展
http://www.cn.emb-japan.go.jp/cul_edu/j/events0707-2_i.htm

九州 知恵袋



—博多人形

由来



博多は、昔から東アジア文化の影響を受け、博多織や博多人形といった工芸品にもその影響が見られる。素焼きの人形を愛でる習慣は、発掘調査の成果により約800年前（鎌倉時代）博多や鎌倉の華僑街や寺社から始まったそうである。

名と特性

博多人形はもとの名を「博多素焼人形」という。明治23年4月第二回内国勸業博覧会で、その時出品された作品が、褒賞を授与。その褒賞状に銘題「博多素焼人形」の「素焼」の二文字が抹消され、単に「博多人形」とだけ記してあり、この時から「博多人形」の公称が確定した。博多人形の種類は大きく、美人もの、歌舞伎もの、能ものなどに分けられる。「博多人形」ならではのその艶やかな肌、彩色が施されると落ち着いた感覚美が漂い、最後に眉、目、口が入れられると、はかなさにも似た、あの特有の美しい表情が浮かんできます。